

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	デモクラシーとリベラルアーツ (Democracy and Liberal Arts)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	大学におけるリベラルアーツ教育の役割を考察する		
担当者名 (Instructor)	中沢 聖史(NAKAZAWA SATOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

「デモクラシー」や「リベラルアーツ」という言葉の意味を多角的に考察し、それぞれの概念が、私たちの暮らす社会や、日々の営みとどのようにつながっているかを学ぶ。また、社会課題を理解し、それを解決するためのアクションを模索するプロセスとして、民主主義のあり方や、リベラルアーツの有用性について議論を重ね、「市民」としての自分の役割を再発見する。

In this course, students critically examine the meaning of the terms "democracy" and "liberal arts" from various perspectives, and learn how these concepts are connected to the society we live in and our daily activities. We will also discuss the concept of democracy and the value of the liberal arts as a process of understanding social issues. Throughout the course, students will actively seek actions to solve the social issues and rediscover their own roles as "citizens".

授業の内容(Course Contents)

この科目はコミュニティを理解し、コミュニティに関わる能力を習得することを通してシティズンシップ(市民性)を習得することを目的とする。授業では国内外の様々な社会課題の事例を取り上げる。授業の進め方として、民主主義の課題や、リベラルアーツという学問の役割について、受講する学生同士がディスカッションやプレゼンテーションをおこない、自分の意見と向き合い、それを他者に伝える姿勢や、お互いから学び合うピア・ラーニングを重視する。

This course aims to help students acquire the sense of citizenship through understanding the community and the ability to engage with it. The course will focus on case studies of various social issues in Japan and abroad. In the course, students will engage in discussions and presentations about the challenges of democracy and the role of liberal arts studies. By implementing peer learning approach, students reflect upon their own opinions, share them to others, and learn from their fellow students.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. なんのために学ぶのか -パウロ・フレイレの「銀行型教育」を考察する
3. リベラルアーツとは何か？
4. 日本の高等教育とリベラルアーツ
5. 民主主義を考える① 民主主義に「平等」は達成できるか？
6. 民主主義を考える② 多数決と構造的暴力
7. ディスカッション①
8. AI時代に身につけるべきスキルとは① AIを使いこなすリテラシーとしてのリベラルアーツ
9. AI時代に身につけるべきスキルとは② AIに代替できないスキルとしてのリベラルアーツ
10. ディスカッション②
11. リベラルアーツの有用性① リーダーシップとリベラルアーツ
12. リベラルアーツの有用性② 異文化理解とリベラルアーツ
13. ディスカッション③
14. まとめ: 民主主義の課題、リベラルアーツの役割

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、履修完了登録後に「Blackboard」上で履修者に対して行う。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%)/リアクションペーパー(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

※この科目は立教サービスラーニング(RSL)科目群のひとつである。

注意事項(Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。